『テクニカル分析の統計心理学』管理人による「トレード実習講座」のご案内

この手紙は、ブログ『テクニカル分析の統計心理学（http://market-researcher.info/）』の管理人が実施する「対面形式」および「通信形式」によるトレード実習講座をご案内するものであり、そのトレードノウハウ（トレードルール）および、その講習内容は、以下のようになっています。

当講習で身に付けられるトレードノウハウの特徴と要点

・テクニカル分析のみによって値動きを捉え、ファンダメンタル的な要素、情報は考慮せず、一日あたり『運用資金に対して４％から６％ほどの収益』を実現していく事ができる。（私の運用実績はもとより、数多くの受講生の運用実績をブログ内で公開しています。）

・トレード条件を満たせている相場のみを対象として『数秒から数分単位の短期トレード』を繰り返し行っていくトレードスタイル。（原則として長時間ポジションを保有する事はなく、極めて高い確率で捉える事の出来る「短時間の値動き」のみを狙って売買を行い、堅実な運用収益を着実に積み上げていく事が出来ます。）

・明確なエントリールールと鮮明に数値化される決済ポイント、損切ラインによって、自己判断、裁量などを持ち込む余地のない完全なテクニカルトレードを実現。（エントリーのポイントはもとより、エントリー後の決済ポイント、損切ポイントも全て鮮明に数値化されるトレードルールとなっているため、迷いなく日々のトレードを実践していく事が出来ます。）

・株、為替、仮想通貨、あらゆる相場において有効であり、どの市場（相場）においても同様のルールで利益を上げる事が出来る。（「テクニカルによる本当に有効なトレードルールは、どんな相場にも共通して有効性でなければならない」というのが私の考えであり、このノウハウはそれをしっかりと実現できています。）

・どこかの相場が「条件」を満たしていれば実践が可能であるため、基本的には２４時間いつでも、その条件を満たしている相場において、トレードが可能。（とくに仮想通貨のマーケットは基本的には２４時間、動き続けていますので、深夜、日中、早朝を問わず、どのような時間帯でも取り組んでいく事が出来ます。）

そのトレードノウハウを「実践形式」で学ぶ講習について

・あなたの目の前でそのトレードノウハウを実際に実践し、実際に収益を上げ、その確固たる有効性をリアルタイムな相場を対象に実証（トレード講習時においては対面もしくはスカイプによる通信形式で、リアルタイムな相場を共に確認しながら、実際にそのトレードルールに沿ったトレードをあなたの目の前で実践し、その「確固たる有効性」を実証します。）

・こちらでその有効性を実証した上で、同じトレードノウハウ（ルール）によって、受講者様にも、その日のうちに稼いでいただく「実践講習」を実施（受講者様にもそのトレードルールに沿ったトレードを実際に行って頂き、そのトレードノウハウで稼ぐまでの一連の流れをそのまま体験して頂きます。）

・講習時のトレードにおいて、万が一、損失が生じてしまった場合は、その全額をこちらが負担し、損益の全額を完全保証。（その際に稼ぐ事が出来た収益は全て受講者様の利益として頂いて問題ありませんので、その講習時においては一切のリスクを抱えずに安心してトレードを体験して頂く事が出来ます。）

・そのトレードルールで何故、勝てるのか。何故、負けないのか。その勝てる理由、負けない理由等の理論講習と併せて、そのトレードルールの全てをマニュアル化した実践資料も同時提供。（このトレードノウハウが有効な理由も相場の理論と併せてしっかりと講習させて頂き、そのルールの全てをマニュアル化した PDF 資料もその場で提供させて頂きます。）

・その実践講習後においてもトレードルールの確認、その後のリアルタイムな相場に対してのトレードの流れなどをいつでもメール、スカイプによる通信形式で徹底サポート。（実践形式のトレード講習後も、万全のバックアップ体制で、受講者様のトレードをサポートさせて頂きます。）

お金がお金を「無尽蔵」に生み出していく
そんな生活を一日でも、一秒でも早く手に入れたい貴方へ

1 日あたり資金に対して 4 ～ 6 %の利益率。

これが異常なほど高い利益率である事は、この分野の経験や知識をお持ちであるほど、お分かり頂けるのではないかと思います。

１００万円の資金を運用に充てれば、1日あたりの収益は４万～６万円ほどになるという事ですから、月収ベースで言えば１２０万円から１８０万円ほどの収益を達成できる事になります。

たとえ資金が１０万円ほどであっても１日あたり４０００円から６０００円を稼ぎ出せる計算となるため、仮に２０万円ほどの資金を運用するだけでも月収で換算すれ一般サラリーマンの月収に近い金額は十分に稼ぎ出せてしまうという事です。

当然、この利率は「複利」で資金を回転させていく事も出来ますので、仮に元手が１０万円であっても、複利で回転させていった場合は一律５％の利率であっても、ほんの数カ月で１０万円の資金はこのようになっていきます。

	資本総額	収益（１日あたりの利益）
1日目	10万円	5,000円
2日目	10万5,000円	5,250円
3日目	11万0,250円	5,513円
4日目	11万5,763円	5,788円
5日目	12万1,551円	6,078円
6日目	12万7,628円	6,381円
7日目	13万4,010円	6,700円
8日目	14万0,710円	7,036円
9日目	14万7,746円	7,387円
10日目	15万5,133円	7,757円
11日目	16万2,889円	8,144円
12日目	17万1,034円	8,552円
13日目	17万9,586円	8,979円
14日目	18万8,565円	9,428円
15日目	19万7,993円	9,900円
16日目	20万7,893円	10,395円
17日目	21万8,287円	10,914円
18日目	22万9,202円	11,460円
19日目	24万0,662円	12,033円
20日目	25万2,695円	12,635円
21日目	26万5,330円	13,266円
22日目	27万8,596円	13,930円
23日目	29万2,526円	14,626円
24日目	30万7,152円	15,358円
25日目	32万2,510円	16,125円
26日目	33万8,635円	16,932円
27日目	35万5,567円	17,778円
28日目	37万3,346円	18,667円
29日目	39万2,012円	19,601円
30日目	41万1,614円	20,581円
：	：	：
60日目	186万7,919円	88,949円
90日目	807万3,037円	38万4,430円
120日目	3,489万1,199円	166万1,486円

あくまでもこれは理論上の数字にあたるものですが、私のトレードノウハウにおける『資金に対して４～６％の利益率』は、私はもとより私の教え子にあたるパートナーの方々が実現している実績（パフォーマンス）をブログに多数、公開しています。

私の「教え子」にあたるパートナー達の運用パフォーマンス一覧
→　http://market-researcher.info/?p=503

つまり、先ほど示した収益表のように、１０万円ほどの資金を３～４カ月で数千万円に増やしていく事や、そこから１００万円単位の収益を毎日のように稼ぎ出していくような事も、決して不可能なことではありません。

世界で最も成功を手にしていると言われている投資家、ウォーレン・バフェット氏でさえ、そのパフォーマンスは年利で平均した数字で２２.６％ほどと言われていますので、私の運用ノウハウは、数字の上では、世界でトップクラスと言われている投資家の１年間のパフォーマンスをほんの数日で実現できてしまうという事です。

ただ、ウォーレン・バフェット氏は年利平均２２．６％という数字を５０年ほど継続し、約１６０万円という資金から時価総額６兆円以上もの資産を築き上げたと言われていますので、そのパフォーマンスの大半は数百億から数千億、強いては何兆円という資金を運用しての数字なのが実状です。

当然、私や私の教え子にあたる方々が運用している資金は、到底、そこまでの金額ではありません。

また、数秒、数分単位の売買（トレード）を前提とする私の手法において、バフェット氏が運用しているような短時間で何十億、何百億円もの大金の売り買いを自在に成立させていく事は物理的にも困難です。（現にバフェット氏は数年単位の長期保有を前提とするような売買手法を基本としています。）

故に、私の手法の運用パフォーマンスが、その表面的な数字の上で「世界一」と言われる投資家よりも優れた結果となっているのは、それが「短期的な資金運用を前提とするパフォーマンスであるからこその結果」であって、本来はそのような表面的な数字だけをそのまま比較できるものでは無いと思います。

ただ、それでも、私のトレードノウハウは数億円規模の運用実績までは無いものの、数百万円、数千万円台の資金運用から、一日あたり４～６％ほどの利益率を実現できる事は既に実証できていますので、

・数百万円規模の資金から、一日あたり数万円～数十万円の収益
・数千万円規模の資金から、一日あたり数十万円～数百万円の収益

などを実現していく分には、とくに資金的な支障を伴う事はありません。

また、相場の状況（出来高など）を考慮する限り、数億円単位の資金でも、同様の運用を問題なく行える可能性が高く、数十億、数百億円以上を運用していくとしても、一日４～６％という利益率をそのまま維持する事は難しくなると思いますが、トレードルールの有効性そのものが無効になってしまうわけでは無いんです。

仮に資金に対して１～２％ほどや、コンマ数パーセントという利益率になるとしても、数十億、数百億円という資金に対しての利益率としては、極めて高い利益率と言えますので、運用資金を大きくしていったとしても、このトレードノウハウの高い有効性は何ら変わるものではないと言う事です。

ただ、相場と向き合いながら値動きの研究と検証を重ね、実際にこのような「有効なノウハウ」を確立した段階で、私自身が根本として『お金でお金を稼ぐ』という行為に向いていない事、そのような稼ぎ方が「自分に合わない事」に気が付きました。

トレードにおける「有効なノウハウ」を確立していく事は、実際にこうして有効なノウハウを確立する事が出来ている以上、決して「不向きではない」のだと思います。

ですが、実際に確立した手法でトレードを行い、自らの資産（資金）を増やしていくようになった時、その結果とは別の「精神的なの部分」で、

『このビジネス（稼ぎ方）を専業にして続けていく事は、到底、出来そうにない』

という判断に至ってしまったわけです。

私が精神的に「この稼ぎ方が自分には合わない」と思った理由。

これは、あくまでも私の「内面の問題」なので、１００％理解して頂く事は難しいと思います。

それでも、その「可能性」として、この手法（稼ぎ方）に対して、私と同じような感覚を抱く事になるような人もいないとは限りません。

よって、私がこの手法を自ら実践していった際に感じた事、そして、自分には合わないという結論に至った経緯を語ったレポートがございますので、今の時点で、その「理由」や「詳細」を知りたいという場合は、こちらを参照頂ければと思います。

>>青天井で稼げてしまう「究極的な時間労働」に向き合い、私が感じた事。
→ http://ebook-japan.com/secret/yh2.pdf

尚、こちらのレポートは、今回の企画への「お申込み前」には一度、目を通していただきたいのが率直な本音ですので、この手紙を最後までお読みになって、今回のオファーを「受けたい」「受けてもいい」と思われた場合は、是非、そのお申込み前に一度、ご覧いただければ幸いです。

実際にそのような判断を下した私は、まずは身の回りの身内の人間や以前からのビジネスパートナーなどにこのノウハウを教えていった上で「私の資産を運用してもらう方向で自らが確立した手法を活かしていこう」と考えました。

私が確立した手法は「しっかりと教えれば同じように実践していく事が可能なもの」であり、ほぼそのままのパフォーマンスを誰もが同じように再現できるものでもあったため、自分ではなく『第３者』に自分の運用手法を使って自らの資産を運用してもらう事にしたわけです。

そして、そのような経緯から私が自らのノウハウを教えた「教え子」にあたるビジネスパートナー達の実際の運用実績は、こちらのブログなどで、その多くを公開している状況にあります。

私の「教え子」にあたるパートナー達の運用パフォーマンス一覧
→ http://market-researcher.info/?p=503

つまり、このオファーは、そんな私のパートナーを育成する事を意図したものであり、上記のようなパフォーマンスを実現している方々と全く同じように、そのノウハウの「全て」を直に継承させて頂くための提案に他ならないという事です。

多くのビジネスパートナー、受講生によって再現性を実証済み
要するに私の目的は「有能な相場師の量産」です

ちなみに私が知人、パートナーに対して、私の資産を運用してもらう上で互いに締結している条件は以下のようなものです。

・私の資産を運用していった際の「損失」は全て私の負担とし、運用を行う者はその損失において一切のリスク（負担）を負わない

・運用を行う者は私の資産を運用する事で得た収益（利益）の５０％（半分）を受け取る事ができる

つまり「損失」は全て私が被り、その「利益」は半分（５０％）だけを私が受け取り、残りの半分（５０％）は自分の利益にしても良いという条件で資産の運用を任せています。

実際に「運用を行う側」には何のリスクもなく、全てのリスクを私が背負いながらも、利益の半分を運用する側に提供するという条件なわけですから「私にとって不利な条件である事」は明白です。

ですが、このような条件で資金の運用を任せられるほど、私は私自身の手法に自信があり、それだけのリスクヘッジも十分に考慮された手法であるという事です。（そうでなければ、このような条件で資産の運用を任せるはずがありませんので。）

そして何より私の手法は数秒、数分単位の短時間での売買（トレード）を前提とするため、多額の資金をまとめて運用しようとするほど、その「短時間の売買」が十分に行いきれない可能性などが生じてしまいます。

そのような場合、手法の有効性そのものは変わらずとも、利益率のある程度の低下は免れません。

ただ、その資金を分散して多くのトレーダーがそれぞれ少額の資金を運用していけば、一日あたり資金に対して４～６％の利益率を、より安定して維持できる事になります。

加えて私の手法は、市場（相場）やタイミングが完全に特定されてしまうような偏った手法でもないため、複数の人（パートナー）が同じ手法でトレードを行っていくとしても、どの相場に向き合うか、どのようなタイミングで相場に向き合うかで、必然的に売買のポイントも分散される事になるんです。

だからこそ、私は「４～６％ほどの利率を安定して維持できるパートナーを複数名、育成した上で、それぞれに資産を分散して運用してもらう」というビジョンを描き、私の確立した手法を継承する事で、既に多くのパートナーの育成に成功しているわけです。

資金（運用）の分散によって可能となる利率の維持
このオファーの真意（目的）はそこにあります

また、仮に資産が数億円規模に増え続けていったとしても、その「応用次第」では、それ以上の金額を運用してパフォーマンスの維持を継続できる「余地」は多いにあると思います。

私自身、そのレベルの運用や応用のノウハウまではまだ確立できていませんが、もしも貴方がそれ以上のステージを目指すなら、そのパフォーマンスを更に引き上げられる余地も十分にあるという事です。

ただ、そのような「応用」を抜きに考えても『資金に対して１日あたり４～６％の利益率』という数字は、投資、トレーダーの一般常識からすると「異常」と言えるほど高い数字です。

一日の利率が４～６％という事は、１カ月あたりの利率は単純計算で１２０～１８０％という数字になるため、これは「元手となる資金が１カ月で１．２倍から１．８倍になる」という計算が成り立ちます。

これを「複利運用」を前提とした場合、その利率は更に大きなものになるんです。

そしてこれは「年利」で言えば１５００％（１５倍）を超える数字であり、これもバックテスト（過去の相場に自分のノウハウを適応した場合の検証結果）では、しっかりと実現できています。

ですが、この業界でそこまでの利率を実現している投資家、トレーダーはほぼ「いない」に等しく、これはそれくらい「常識外れの利率」なわけです。

私の手法が、そんな「ありえない利益率」を実現できている理由

私のトレードノウハウは、それくらいの「ありえないレベルの利益率」を、私はもとより、私の教え子にあたる多くのトレーダーの手によって、次々と実現できている状況あります。

つまり、この上なく高い「利益率」と「再現性」を兼ね備えたトレードノウハウであるという事です。

そして、そのような利率を実現できている要因は、大きく分けて以下の３つに集約する事が出来ます。

・テクニカル（＝値動きを捉える投資家達の心理動向）の観点から相場の動きを高い確率で見極められる局面のみを狙っていく手法である事。（値動きを捉える投資家達の心理動向を分析していくテクニカルの本質的な視点から、そのような局面を極めて高い精度で判断できる「方法」と「基準」を確立できている事。）

・トレード条件を満たしている相場のみを対象に、数秒から数分単位の短期トレードを繰り返し行っていくトレードスタイルである事。（原則として長時間ポジションを保有する事はなく、特定の条件を満たしている相場において、極めて高い確率で捉える事の出来る「短時間の値動き」のみを狙って売買を行い、堅実な運用収益を着実に積み上げていく手法である事。）

・勝つためのルール、利益を伸ばすためのルールよりも、負けないためのルール、損失を最小限に押さえるためのルールに重きを置いている事。（負けない事、損失を最小限に押さえる事こそが、結果として収益を最も効率的に伸ばしていく事に繋がるためそのためのルールを徹底して確立している事。）

この３つのポイントと共に「私が確立したノウハウの詳細」を併せて言及していきたいと思います。

「心理」と「統計」から高い確率で現れる共通性の高い値動き
その条件の「全て」が揃う局面のみを狙っていく投資手法

その利益率があまりにも高過ぎるため、あなたは「ハイリスクハイリターンな手法」を想定されているかもしれません。

ですが、私の手法はむしろ極めて堅実なものであり、可能な限り「勝てる勝負」だけに資金を投じていく手法であり、また「リスク」や「損失」を避ける事に何よりも重きを置いています。

『損をしない事が投資で成功するための何よりも重要な鉄則である。』

ウォーレン・バフェット氏を始めとする歴代の世界的な投資家、相場師がこのような言葉を残しているため、私は自身の投資手法を確立するにあたり、その「鉄則」を何よりも重要視しました。

その上で、まず確立していったのが『値動きが予測しやすい局面と予測し難い局面を判断するノウハウ』であり、そこで必然的に視点を向けていく事となったのは、

・相場に向き合う投資家達、トレーダー達の心理とその動向
・その心理動向から生じる統計的な確率論

これらによる共通性の高い値動きを、いわゆる「テクニカル分析（値動きの分析）」によって捉えていく事だったわけです。

そして、実際に確立していったのが、相場が投資家心理の動向に沿って統計的な動きを示す可能性が極めて高い局面のみを狙っていくという手法でした。

事実、相場には『投資家達の心理動向から高い確率で現れる値動き』と『その心理統計から高い確率で現れる値動き』がそれぞれ存在し、私の手法ではこの２つが「一致」する形で相場が動いている局面だけを狙ってトレードを行っていきます。

心理動向の視点、そこから生まれる統計の視点、どちらか片方においてのみ、共通性の高い値動きを示している状況では勝負を避け、その「両方」の視点で共通性の高い値動きを示している局面のみを狙っていくという事です。

もちろん、相場の値動きを１００％の確率で予測するような事はハッキリ言って不可能です。ですが、損をする可能性（失敗する可能性）を徹底して「排除」していく事は可能であり、それが結果として「勝てる確率の高い値動きをのみを徹底して捉えていく事」に結び付いていく事になります。

故に、その（勝てる）確率を９０％にできる基準があるなら、その確率が８０％ほどを見込めるような局面であっても、私はまず手を出しません。

自分の中で確立している基準（条件）が完全な形で満たされている状況以外では、例えどんなに稼げる可能性が高そうな局面であっても、決して手を出さないという事です。

“損をする事”は「死ぬ事に等しい」という思考。

極端に言えば、私の思考はこれに近いです。

一般論として「８割でも十分な勝率なので勝負する」という考えも、そこまでおかしいものではないと思いますが、仮にそれが「生きるか死ぬか」という勝負事なら「勝率９割の基準」を確立している状況で、その基準に満たないような勝負（例えば勝率が８割くらいになってしまう勝負など）は、まずしないと思います。

もちろん、資産運用において、実際に命までを取られてしまうような事はありません。

ですが「損をする事は死ぬことに等しい」という思考で、可能な限り勝率を高められる局面以外では勝負をしないようにする事こそが、多くの偉大な投資家達が口を揃えて言っている「損をしない」という事に直結するというのが私の考えです。

「待つのも相場。」

このような格言もありますが、私はむしろ『待つのが相場』であり、少なくとも私はそのような思考を前提に自身のノウハウを確立していったため、私の手法で資産運用を行う場合、実際に「運用（投資）」を行う時間よりも「待つ時間」の方が長い傾向にあります。

この手法はあくまでも相場に向き合う投資家、トレーダーの心理的観点と、その値動きにおける統計的観点から生じる「共通性の高い値動き」のみを狙っていくものであるため、その条件を満たせる相場状況となるまでは、決して相場に手を出す事がないからです。

とは言え、その基準（条件）を満たす局面は１日の相場において、ほぼ一定の割合で定期的に訪れます。

そのような「一定の割合で定期的に訪れる局面（相場）」だけを狙ってトレードを行っていく事で、実際に私は一日あたり、資金に対して４％～６％ほどのパフォーマンスを実現できているという事です。

> 私のトレード手法を実践できる「一定の割合で定期的に訪れる相場」は、一日全体の相場に対して、その４分の１から６分の１ほどの相場が、その「トレード条件を満たせる相場」に該当します。
>
> つまり、為替や仮想通貨などの一日２４時間の値動きを対象にできる相場であれば、その中の４時間から６時間ほどに相当する相場が、その「トレード条件を満たせる相場」にあたるという事です。

そんな「トレード条件を満たす相場」のみを対象とした短期トレード
そのトレードスタイルこそがもたらす圧倒的な利益率

そんな「極めて高い確率で値動きを予測できる相場」のみを対象にしていった上で、より確実に利益を上げていくため、私のトレード手法では、数秒から数分ほどの極めて短い時間の値動きのみを対象に売買（トレード）を行っていく事を前提としています。

言い方を変えると、この手法は『高い確率で数秒から数分ほどの値動きを見通せる相場のみを対象にトレードを行っていくもの』であり、そのような「短時間の値動きを捉えるための基準」を徹底して確立しているわけです。

とくに私の手法は「ファンダメンタル」にあたるものを一切考慮せず、テクニカル（値動きを捉える投資家心理）のみを対象とした値動きの分析（予測）を前提としているため、短時間の値動きを対象にするほど、より高い確率と精度で、その「動き」を的確に捉えられる事になります。

ファンダメンタル分析を度外視したテクニカル分析が、短時間の値動きを捉えようとするほど有効なものになる理由、根拠などは、こちらで言及していますので、併せて参考にしてください。

>> テクニカル分析が短時間の値動きを捉える上で有効となる理由
http://market-researcher.info/?p=926

その上で「トレード条件を満たせる相場」は、一日の相場の中でトータルして数時間に及んでいく事になるため、この手法では、その数時間単位の「対象となる相場」の中で、数秒から数分ほどのトレードを何度も行っていく事になります。

そのような短時間の売買（トレード）を介して「数秒から数分の間の値動きから手堅く抜き取れる収益」をどんどん積み上げていくわけです。

逆に、それ以上、先の値動きは一切考慮しませんので、あくまでも高い確率で捉える事ができる数秒後、数分後といった「短時間の値動き」を対象に「稼ぐべくして稼ぐ事ができる利益」のみを抜き取っていきます。

そのような短時間の売買のみを何度も繰り返し行い、その売買を介して積み上げていく事が出来る収益をトータルしていくと、一日の収支は資金に対して４～６％ほどの金額になっていくという事です。

秒単位、分単位の堅実な短期売買の「反復」によって実現していく運用収益

よって、このトレード手法では「相場に向き合う投資家達、トレーダー達の心理動向」と「その心理動向から生じる統計的な確率論」の両方の観点から導き出した『相場が投資家心理の動向に沿って統計的な動きを示す可能性が極めて高い局面』において、

「そこから〇秒間は、相場が上昇（下降）する可能性が高い。」
「そこから〇分間は、高い確率で〇円から〇円の間を上下する。」

といった、そこからの確率が極めて高い「短期的な値動き」のみを狙っていくものであり、そういった数秒間、数分間といった値動きを捉える事だけに特化しています。

言い方を変えれば、それ以上、先々の値動きは全く考慮しないため、高い確率で予測できる数秒から数分の値動きから「稼ぐべくして稼ぐ事ができる収益」のみを堅実に稼ぎ出していくわけです。

ただ、そのような短時間の値動きを対象とするトレードであっても、値動きの激しい「仮想通貨（ビットコイン）の相場」などであれば、以下の運用実績のように一度のトレードで資金に対して数%に相当する利益を一気に稼ぎ出す事もできてしまいます。

▼ 取引数量、計２枚：約２１５万円分（運用資金２０万円×レバレッジ１５倍）

日付	ペア	売・買	約定価格	取引数量	評価損益	取引証拠金
数秒前	FX BTC/JPY	売り	1070051	0.266	+546	18,976
数秒前	FX BTC/JPY	売り	1070001	0.2	+400	14,267
数秒前	FX BTC/JPY	売り	1070000	0.45961815	+919	32,787
数秒前	FX BTC/JPY	売り	1070000	1.07438185	+2,149	76,640

エントリーから数秒で約４,０００円の含み益（運用資金に対しての利益率：２％）

▼ 取引数量、計１枚：約１１０万円分（運用資金１０万円×レバレッジ１５倍）

日付	ペア	売・買	約定価格	取引数量	評価損益	取引証拠金
1分前	FX BTC/JPY	売り	1086000	0.1835	+1,343	13,286
1分前	FX BTC/JPY	売り	1086000	0.8165	+5,977	59,115

エントリーから１分で約７,０００円の含み益（運用資金に対しての利益率：７％）

▼ 取引数量、計２枚：約１７０万円分（運用資金２０万円×レバレッジ１０倍）

日付	ペア	売・買	約定価格	取引数量	評価損益	取引証拠金
4分前	FX BTC/JPY	買い	839000	2	+20,622	111,867

エントリーから４分で約２０,０００円の含み益（運用資金に対しての利益率：１０％）

▼ 取引数量、計３．５枚：約４００万円分（資金４０万円×レバレッジ１０倍）

日付	ペア	売・買	約定価格	取引数量	評価損益	取引証拠金
5分前	FX BTC/JPY	買い	876000	3.4944174	+33,204	204,074

エントリーから５分で約３３,０００円の含み益（運用資金に対して利益率：８％）

▼ 取引数量、計２枚：約１８０万円分（資金２０万円×レバレッジ１０倍）

日付	ペア	売・買	約定価格	取引数量	評価損益	取引証拠金
7分前	FX BTC/JPY	買い	883899	1.058	+9,477	62,345
7分前	FX BTC/JPY	買い	884287	0.2	+1,714	11,791
7分前	FX BTC/JPY	買い	884287	0.742	+6,358	43,743

エントリーから７分で合計、約１７,０００円の含み益（運用資金に対しての利率：８％）

運用資金に対して一日あたり４～６％という利益率は、あくまでも「平均的な数字」であるため、実際はそれ以下の利益率となる日もあれば、それを大きく超える利益率を実現できる日もあります。

その上で、このトレード手法で値動きを捉える事の出来る相場は『数秒、数分といった短時間で一気に相場が動くような相場』も含まれているため、そのような相場を押さえる事が出来れば、上記のような運用収益を、数秒間、数分間の一度のトレードで実現できてしまうんです。

そして、そのような大きな利益を一気に生み出せるようなトレードを行う事が出来れば、当然、その日の利益率も大きく跳ね上がるというわけです。

突発的に生じる値動きを捉えて「大きく稼ぐ事」も可能です

ただ、そのような数秒から数分の売買を前提としている手法である以上、この手法で実際にトレードを行っていく際は、常に相場に向き合い、リアルタイムな値動きを見ながら売買を行っていく必要があります。

言わば「相場に張り付いてのトレードが必須」という事であり、これを「デメリット」と捉えるトレーダーも少なくありません。

ですが、これは「ポジションを持ったまま相場から離れる事はない」ということであり、全ての売買をリアルタイムな相場を見て、目の前で完結できる事から、相場において最も危惧するべき『気が付くと、資金の大半を失っていた』というような最悪の事態を避けられます。

現実として、相場の世界では、常に突発的な大きな値動きで資金の多く失ってしまうリスクがありますが、そのような目に合うのは、ほぼ例外なく、相場に資金を投じたまま（ポジションを残したまま)、そこから目を離してしまっているような人達です。

ただ、実際にリアルタイムな相場の値動きを監視して売買を行っていれば、まずそのような目には合いません。

そのような突発的な値動きにも即座に対応できることになるため、そのような状況でも損失を最小限に押さえていく事が出来るからです。（むしろ、即座にそこに便乗して大きな利益を生み出せるくらいだと思います。）

もちろん、相場に張り付かなければ稼げない事はデメリットかもしれませんし、完全にほったらかしでお金を増やせるなら、それに越した事は無いと思います。

ですが、相場の現実として、相場に資金を投じて「ほったらかす」という時点で、予期せず突発的な値動きで資金の多くを失ってしまうリスクは避けられません。

そして、そのような状況こそが、相場において最も避けなければならない「最悪の事態」ですので、相場に張り付く事で、そのような大きなリスクをチャンスに変えられるなら、これはデメリットよりもメリットの方が大きいと思います。

むしろトレードで「堅実」に稼ぎを手にしていきたいなら『トレード（売買）は相場に張り付いて行うべき』であり、そこへ資金を投じたなら決して目を離さない事こそが、トレードにおける「最悪の事態」を避けられる事に繋がり、それが「負けないトレード」を実現できる大きな足掛かりになるという事です。

本当に勝ち続けたいなら、相場には徹底的に張り付いてください

ただ「相場に張り付く」と言っても、それは実際に数秒から数分単位のトレード（売買）を行っている間の話であって、相場が然るべきトレード条件を満たせていない時（＝トレードを行えない時）は、とくに張り付く必要はありません。

少なくとも、この手法における『相場が投資家心理の動向に沿って統計的な動きを示す可能性が極めて高い局面』は、一定の割合で定期的に訪れるものであり、為替、仮想通貨などの２４時間体制の相場であれば、トータル的には数時間単位で『トレード条件を満たせる相場』が訪れるというものです。

決してそのトレードチャンスが一瞬で終わってしまうようなものではなく、また、その条件は明確な基準の上で成り立っていますので、相場を一目見れば、

・その条件を満たせている状況。
・あと少しで、その条件を満たせそうな状況
・当面、満たせそうも無い状況

などが、即座に判断できるようになっています。

つまり、いつ訪れるかも分からないトレードチャンスをひたすら相場に張り付いてただただ待つような必要も全くありませんので、相場に張り付くのは、あくまでも相場に資金を投じて、実際にトレード（売買）を行っていく際のみで問題ありません。

要するに相場に張り付いている時間は、実際にトレードを行って利益を積み上げていく事になるため、相場に向き合っていく時間がそのまま「稼ぎ」に繋がっていくという事です。

相場に張り付き続ける時間　＝　利益を積み上げていく時間

加えて、この手法におけるトレード時は、そのエントリーポイントはもとより、利益確定のポイント、そして、万が一、相場が逆に動いてしまった場合の損切のポイントなども、全て明確に数値化されるようになっています。

そのため、実際にトレードを行っていく際は「エントリー条件を満たすと共に定められる数値に従った売買」をそのまま行っていけば問題ありません。

また、ファンダメンタル的な要素となるものは一切考慮せず、値動き（チャート）から読み取れる情報のみからそれらを導き出していく手法となっていますので、その売買（トレード）において、感覚に頼るような曖昧な基準や自己判断や裁量などを持ち込むような余地は一切無いという事です。

ファンダメンタルを無視した「テクニカルのみの手法」で勝てる理由

数日、数週間、また、それ以上の長期間における相場の値動きであれば「ファンダメンタル」が、そこに強く影響を及ぼしていく事は間違いありません。

ですが、数秒間、数分間の相場（値動き）に対しての影響は限りなく薄く、よほど大きなファンダメンタル要因が突発的に生じない限り、その影響はほぼ無いに等しいのが実状です。

何より「ファンダメンタル」と呼ばれるものの多くは、私達のような一般の投資家、トレーダーのもとに、それに付随する何らかの情報が届く頃には、既に上層階級の投資家、トレーダー達がそれを掌握している可能性が高く、そのような要素の多くは既に相場に盛り込まれています。

故に、数秒間、数分間といった値動きを捉える事のみに特化するのであれば、ファンダメンタルは完全に度外視した上で、その値動きを分析する上での対象はテクニカルに特化していくべきというのが私の考えです。

そして、そのような「テクニカル」の視点のみを追求して確立した手法が『相場が投資家心理の動向に沿って統計的な動きを示す可能性が極めて高い局面』のみを狙っていく短期トレードに特化したこのトレードノウハウであるという事です。

条件を満たすと共に明確に「数値化」されていくトレードポイント
裁量等を一切交えず、その数値に従う事が「勝ち続けるための鉄則」です

また、相場におけるテクニカル分析の実状としても、多くのトレーダーが「テクニカル指標」と呼ばれるものを数多くチャートに表示させながらも「勝てていない（稼げていない）」という現実があります。

故に私は、相場の研究を始めた当初の段階から、そのような指標は、ほぼ無視する形（用いない形）で値動きを捉える手法を追求してきました。

相場の世界で「勝てていない人」には、相応の「勝てていない要因」がありますので、その要因である可能性の高い「勝てていない人達がアテにしている数字や指標」を、私は、ほぼシャットアウトした形で相場の研究を行ってきたわけです。

よって「稼ぐ事ができていない多くのトレーダー」と「私」の『違い』を挙げるなら、売買の基準においてアテにしている「基準」や「数字」が根本的に異なるという点が挙げられると思います。

現に「ここ数年の相場の傾向」や「私が実際に検証を重ねてきた相場」の動向を捉えていく限り、多くの人がアテにしている数字、指標などは、それをアテにするトレーダー達を「喰い物」にするべく、大口の投資家、トレーダーなどがそれを逆手に取っているように思えました。（まず「そうとしか思えないような値動き」が相場においては時折、また、その状況によっては頻繁にあるんです。）

もちろん、そのような「テクニカル指標」にあたるものが全くアテにならないというつもりはありませんが、

・そのような指標をアテにしている多くのトレーダー達が稼げていない事
・過去、現在の相場においても「指標に騙される局面」が幾度と見受けられる事

この２つの要因から、私の手法では「テクニカル指標」と呼ばれるものを用いずに『値動き（チャート）の動向』から、相場が投資家心理の動向に沿って統計的な動きを示す可能性が極めて高い局面を絞り込み、その状況に準じた数値を明確化できるトレードルールを確立しているという事です。

極めて高い水準の「勝率」と「利率」を生み出す
あらゆるテクニカル指標には頼らない独自のチャート分析術

そして、そのトレードルールに準じて数値化していくものの中には、相場が思惑とは逆の方向に動いていった場合の「損切」のポイントも含まれています。

私のトレード手法は「勝てる可能性の極めて高い局面のみを狙っていく手法」となっていますが、決して『１００回のトレードで１００回勝てる』というレベルの「必勝法」ではありません。

そもそも「決して負ける事のない絶対的な必勝ノウハウ」など、投資の世界に存在しないと思いますので、どんなに勝てる可能性の高い局面のみを狙っていっても、思惑とは逆の方向に相場が動いていく可能性は常に「０」では無いと思います。

その上で、私の手法ではとにかく「リスク（損失を生んでしまう可能性）を避ける事」に重きを置いているわけですが、それと同時に重きを置いているのが「損失を最小限にする事」です。

相場の世界で資金を運用していく以上、どんなにリスク（損をしてしまう事）を避ける事を徹底しても、それを１００％避けていく事は不可能であり、実際に相場で勝てない人、負けている人の要因は「損失を押さえられない事（損切ができずに損失を増やし続けてしまう事）」にあると言われています。

故にトレードにおいては、避けようのないリスク（損失）を最小限に押さえるためのルールが必要不可欠であり、私の手法では「損切を行うべきポイント」も明確に数値化されるようになっているんです。

何より、私の手法は「損切によって生じてしまう損失を最小限にできる局面だけを狙っていく手法」でもあるため、相場が思惑とは逆方向に動いてしまう局面においても、その損失を最小限に押さえられるようになっているという事です。

「リスクの回避」と「損失の最小化」
これらを徹底するべく確立された売買ルールと損切ルール

更に、このトレード手法の最も大きな特徴として、この手法におけるトレードルールは、一定数の人が投資、投機、トレードの対象としている市場であれば、どの相場（何の相場）においても有効となっています。

つまり「株」でも「為替（ＦＸ）」でも、ここ最近の市場で言えば「仮想通貨」の相場でも、以下のような運用実績の通り、そのマーケット（市場）を投資や投機、トレードの対象として一定数の人が参入している状況にあれば、十分にその有効性を発揮する事が出来るという事です。

▼

▼　ＦＸ＜ドル×円＞運用実績

決済明細

通貨ペア	全て
約定日	2018 年 4 月 9 日 ～ 2018 年 4 月 10 日

検索　CSVダウンロード

通貨ペア	全て	約定日	2018/04/09 ～ 2018/04/10

明細数:194件

合計手数料 ／ 0　合計実現スワップ ／ 0　合計実現損益 ／ 16,560　総合計損益 ／ 16,560

注文番号	約定日	建玉番号	通貨ペア	取引	数量	決済価格 建単価	手数料	実現 スワップ	実現損益	合計損益	ロール 詳細
286358984	2018/04/10 15:34:23	60000472782992	米ドル-円	決済買	1	107.192	0	0	180	180	
286357269	2018/04/10 15:20:09	10000483024361		新規売	1	107.210	0	-			
286358984	2018/04/10 15:34:23	60000472782991	米ドル-円	決済買	1	107.192	0	0	180	180	
286357260	2018/04/10 15:20:04	10000483024355		新規売	1	107.210	0	-			
286358984	2018/04/10 15:34:23	60000472782990	米ドル-円	決済買	1	107.192	0	0	180	180	
286357243	2018/04/10 15:19:59	10000483024348		新規売	1	107.210	0	-			
286358984	2018/04/10 15:34:23	60000472782989	米ドル-円	決済買	1	107.192	0	0	90	90	
286357092	2018/04/10 15:18:23	10000483024283		新規売	1	107.201	0	-			
286358984	2018/04/10 15:34:23	60000472782988	米ドル-円	決済買	1	107.192	0	0	110	110	
286357064	2018/04/10 15:18:10	10000483024269		新規売	1	107.203	0	-			

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 次頁 次の10頁

一回あたりの取引数量：１（約１１０万円＜資金２０万円×レバレッジ１０倍＞）

2 日間で約 16,560 円の実益（資金に対しての 1 日あたりの利益率：約４％）

▼　仮想通貨＜ビットコイン×円＞運用実績

ペア	売・買	約定価格	取引数量	評価損益	取引証拠金
FX BTC/JPY	買い	756500	0.41	+4,057	20,678
FX BTC/JPY	買い	756500	1	+9,894	50,434
FX BTC/JPY	買い	756500	0.59	+5,837	29,756
FX BTC/JPY	買い	736000	0.04	+362	1,963
FX BTC/JPY	買い	736000	1.96	+17,732	96,171

取引数量１～２：約７５～１５０万円（資金１０万円×レバレッジ１５倍）

取引数量 1 枚に対して約 8,500～9,500 円の実益（資金に対しての利益率：約９％）

ご覧の通り、仮想通貨（ビットコイン）と為替（ＦＸ）の相場では、実際の資金を運用した上で、その有効性を実証できていますし、株の相場においてもバックテストの上で同様にその有効性を確認できています。（株の場合は信用取引でも３倍までのレバレッジ取引が限界であるため、実際の運用は１５倍、２５倍といったレバレッジ取引を行える仮想通貨、為替の相場を対象に行っていました。）

少なくとも、そのトレードルールが本当に「テクニカル（値動き）」に対する投資家心理の動向を有効に捉えたものであるなら、その有効性は、あらゆる市場のあらゆる相場においても同様のものが見られなければなりません。

テクニカル分析の本質は「相場の値動きを捉える投資家心理から生じる売り買いのバイアス（偏り）の規則性を捉える事」であり、その根底にあるものは「人の心理」に他ならない以上、そこに見られる規則性は、あらゆる相場において共通していなければおかしいからです。

むしろ、ありとあらゆる市場（相場）において、同様の有効性が見られている事こそが、この手法が実際に「心理」と「統計」を有効に捉えたものである事の「裏付け」になります。

そんな「テクニカル分析の本質に沿った有効なトレードルールである事」を裏付ける『あらゆる相場への共通した有効性』が、この手法にはしっかり備わっているという事です。

このような「あらゆる相場で有効性を発揮できる」という特徴は、多くのトレーダーが実践しているノウハウや情報商材などの形で公開されている投資ノウハウなどにおいても、ほぼ類を見ないものです。

大抵のトレーダーおよびトレードノウハウは、その手法の対象となるマーケットを「株の相場」「為替の相場」と限定している傾向にあり、私のトレード手法のように『どこに相場でも有効なトレードノウハウ』にあたるものを提唱しているケースは、ほぼ皆無だと思います。（少なくとも、私は目にした事もありません。）

つまり、世の多くのトレーダーのトレード手法、情報商材などで提唱されているノウハウなどは「テクニカル分析に準じた手法」という事を銘打っているものの、その大半は然るべきテクニカル分析の本質には沿えていない可能性が高いという事です。

あらゆる市場、あらゆる相場における共通した有効性
それこそが「心理」と「統計」を有効に捉えている事の『裏付け』です

全ての相場において共通した有効性が見られないようなテクニカル分析に基づくトレードルールでも『どこか特定の相場では有効』というケースはありえますが、そのようなノウハウは一時的には有効であっても、おそらく長期的な有効性は保てません。

そのような『特定の相場においてのみ有効性が見られるようなテクニカル分析に基づくトレードルール』は、その相場特有の「ファンダメンタル」を織り込んだ上で成り立っている可能性が高く、ファンダメンタルにあたるものは時間の経過と共に「移り変わっていくもの」だからです。

その市場（相場）に関連する内部的な情報、外部的な情報などが全般的に「ファンダメンタル」の対象である以上、どの市場におけるファンダメンタルも、決して不変、不動なものではありません。

故に『その相場特有のファンダメンタルの上で成り立つテクニカルルール』にあたるものは、一時的には有効であっても、その市場におけるファンダメンタルの変動と共に、その有効性が薄れる可能性、強いては、その有効性を失う可能性があるんです。

対する「テクニカル」は、相場の「値動き」に対する投資家達の心理の「偏り」を捉えていくための分析対象であるため、そのような「人間心理に基づく物事の判断や行動パターン（規則性）は、決して移り変わるものではない」とされています。

事実、そこに一定の不変性があると考えられるからこそ「心理学」とされるものが１つの学問として確立され、多くの専門家によって研究され続けているんです。

つまり、そのような「人間心理（投資家心理）の動向に基づく統計的な値動き」のみを前提にとしている私のトレードルールは、決して移り変わる事のない不変的なものだけを対象に確立されているため、今後においても「不動の有効性」を保ち続けられる可能性が高いという事です。

だからこそ提唱できる、決して移り変わる事の無い不動の有効性

よって、このトレード手法では、以下のような３つのポイントを、その大きな特色として挙げる事が出来ます。

・ファンダメンタル的な要素、情報は考慮せず、テクニカル分析のみで捉える事ができる数秒から数分の値動きを狙った短期トレードによって堅実な収益を積み上げていく事が出来る（長時間ポジションを保有する事はなく、相場を捉える投資家心理から、統計上、高い確率で値動きを捉える事ができる局面のみが実践の対象となる。）

・明確なエントリールールと鮮明に数値化される決済ポイント、損切ラインによって極めてロジカルなトレードを行っていく事が出来る（トレード条件を満たすと共に数値化されていくトレードポイントに沿った売買を行う事で、自己判断、裁量などを持ち込む余地のないトレードを実践できる。）

・株、為替、仮想通貨、あらゆる相場において共有した有効性、規則性を捉える事ができるため、今後も変わる事のない不動の有効性を期待できる。（どこかの相場が「条件」を満たしていれば実践が可能であり、２４時間、動き続けている為替、仮想通貨の相場を対象としていけば、深夜、日中、早朝を問わず、どのような時間帯でも取り組んでいく事が出来る。）

このような特徴から、その運用方法の１つとして、あらゆる市場（相場）から、その基準（条件）を満たしている「勝率の高い局面をむかえている相場」を率先して見つけ出し、その運用チャンスを更に広げられるという事です。

ただ、その「売買ルール」や「損切ルール」がどんなに明快でロジカルなものであっても、相場は常に動き続けるものであるため、そのルールをどんなに「頭」で理解しても、リアルタイムに動き続ける相場でその基準（条件）に沿った局面を判断し、売買を行っていく事は、言うほど簡単ではありません。

私個人の感覚として、実際の判断や売買のタイミングなどは、そこまで「難しい」というほどのものではないと思っていますが、それでも、その「基準（ルール）」のみを情報として頭に入れただけの状況で、リアルタイムな相場に向き合って実際に資金を運用するのは、少々「危険」だと思います。

やはり、机上のみで捉える「方法論」や、それを裏付ける「理屈」と、リアルタイムで動き続ける相場に対象とした「実践」とでは、そこに大きな違いがあるからです。

よって、このようなトレードノウハウを自分のものにしていく上では、可能な限り完璧な形でそれを理解、体得した上で本格的な実践（運用）に乗り出していくべきだと思います。

だからこそ、このような「資産運用」を前提とするトレードノウハウなどは、テキスト、動画といったコンテンツのみで一方的に情報のみを提供する形ではなく、まさに「手取り足取り」のレベルでその手法を実践的に体得して頂く事が最も「確実」だと思いました。

何より「この手法が本当に稼げる手法であると確信していただく事」が重要な第一歩だと思いますので、まずはそれを「目の前」で再現し、そして「体験」して頂く事が最善ではないかと思います。

そして、その「最善と言える道筋」として提案させていただきたいのが、今回のオファーにおける『実践形式のトレード講習』に他ならないという事です。

まずはその有効性を「目の前」で再現します。
そして即座にあなた自身がそれを「体験」してください。

このような「資産運用のノウハウ」は、その有効性を目の前で再現していく事はもとより、その実践によって、即座に結果を出して頂く事が出来ます。

文字通り「手取り足取りレベルでノウハウ教えられる環境下」にあれば、その場で即座に同じノウハウによって稼いで頂く事が可能なわけです。

それならば、この手法を教示する上で「そのメリットを活かさない手はない」と思いました。

それこそ生半可な理解レベルで実践してしまい、下手にその再現性を低くしてしまう事は、情報（ノウハウ）そのものの価値を下げている事と何ら変わりありません。

その内容をしっかりと理解していただき「絶対的な確信」と共に、完璧にその手法をマスターして実践して頂いてこそ『より確実な再現性』を実現していく事が出来るものだと思います。
（実際にそのような形で教えた友人、知人は例外なく、稼げるようになっています。）

何より、ここまでのノウハウを確立した以上は「より確実な形でこのノウハウをしっかりと提供していきたい」というのが、本心からの私の率直な思いです。

よって、今回のオファーでは、私の資産運用のノウハウの「全て」を、

・ほぼ「１日がかり」で行う手取り足取りレベルの対面講習
・スカイプ・メールによる「９０日間、回数無制限」の通信補習

このような２つの体制で完全提供させて頂きたいと思います。

ほぼ「１日がかり」で行う手取り足取りレベルの対面講習

これは、あなたの目の前で私が実際にこのトレード手法で資金を運用しながら、文字通り『手取り足取りレベルで、その手法の全てを実践形式で教えていく』というものです。

ただ、既にお伝えした通り、このノウハウは「実際に資金を運用する時間」と「高い確率で値動きを予測できる相場を待つ時間」がありますので、実際に運用の基準（条件）を満たす局面を対象に『実践的な講習』を行い、そうではない局面では『方法論全般の理論的な講習』から、

『何故、この手法が有効なのか』
『何故、この相場では運用を避けるべきなのか』

などを、その理由と共に１つ１つ講義してきます。

対面講習そのものは都内のホテルの一室で、お時間が許す限り「実際の相場」を見ながらマンツーマン形式で行っていきますので、ほぼ一日がかりで基準（条件）を満たす局面を待ち、資金運用が可能な局面では実践的な講習を行い、そうではない局面では理論的な講習を行っていくという事です。

よって、その実践講習の際は、受講者様の目の前での「実際の資金運用」はもとより、受講者様自身の「体験的な講習」も行っていきますので、その日のうちに実際に受講者様自身の資金を運用して稼いで頂きたいと思います。

つまり、その場に持ち寄る資金の額によっては、その実践講習の中で数万円、数十万円といった金額を稼いで帰って頂く事も可能ということです。

・実際の講習時間はホテルのチェックイン時間の関係から１５時～２１時（約６時間）を目安としています。（相場の状況、受講者様のご要望によっては延長も可能であり、ホテルの会議室などを借りての講習も可能ですので、要望があれば午前中から夕方にかけての時間帯などでも対応させて頂きます。）

・こちらの対面講習は東京都内のホテルの一室にて行わせて頂きますので、ホテルまでの移動費は受講者様の方でご負担願います（ホテルの室料は、後ほどご案内させて頂く受講料に含まれます。）

・対面講習内で受講者様が資金を運用された場合において、万が一、運用資金に損失が生じた場合は、その損失分の資金は全額をこちらで保証（補填）させて頂きます。（運用によって生じた「利益」は全て受講者様の利益として頂いて構いません）

注）但し、こちらの「保証」は「リスクが無い前提の無茶な運用」をご遠慮いただくため、保証の対象となる運用金額の上限を１００万円までとさせて頂きます。

地方より起こしになられる受講者様へ

ここでご案内した「実践講習」は、こちらに記載しました通り「都内のホテルの一室」で行わせて頂きますので、そちらのお部屋は「宿泊」という形でご用意いたします。

従いまして、受講者様が地方より都内に起こしになられる場合、そちらのお部屋を実践講習後も、そのまま「宿泊」という形でご利用いただいて構いません。

翌朝のチェックアウト時間まで、お泊り頂いて構わないという事です。（その場合でもホテルの利用料は全て受講料に含まれる形となりますので、ホテルの利用料をお支払い頂く必要はございません。）

その実践講習に利用した部屋に宿泊されるかは受講者様の任意で構いませんので、講習後もそのまま宿泊を希望される場合は、その旨、お申し付けいただければ、ホテル代金の清算のみ、こちらで行わせて頂きます。

※実践講習に利用するホテル、お部屋は主に都内のシテイホテルになると思います。

スカイプ・メールによる「９０日間、回数無制限」の通信補習

基本的なウハウの全容や理論などについては「対面講習」の際に余すことなくお伝えしますが、やはり相場は常に動き続けるものであるため、その局面ごとの判断などを直に私に対して「確認」できるような環境も整えさせて頂きました。

こちらの通信補習では、その「補習期間」として、メールとスカイプによるアドバイスはもとより、状況に応じたサポート、コンサルを９０日間に渡り、回数無制限で随時、対応させて頂きます。

スカイプであればＰＣ画面を共有する形で、実際の相場やトレード画面をお互いに確認しながらもの補習なども行えるため、対面講習の際とほぼ同じレベルの講習を、この通信補習で改めて行う事も可能です。

よって、実際に受講者様が望まれるのであれば、私の手法をしっかりと理解し、マスターして頂けるまで、そのようなレベルの補習にも順次、対応させて頂きます。

・９０日間の補習期間は対面講習を受講した翌日より９０日間が補習の対象期間となりますが、ご要望に応じての「期間の延長」も可能です。

・メールによる対応は随時、スカイプによる通話対応は希望日を事前にメールでご連絡いただき、日程を調整させて頂いた上での対応とさせて頂きます。

“いつでも、どこでもパソコン一台で資産を増やせる事”
それを目の前で「実証」し、全てを余す事なく「継承」します

インターネット上では、株、為替（ＦＸ）、仮想通貨などの「投資」におけるノウハウやツールが「情報商材」というくくりの中で数多く販売されています。

ですが、そのノウハウの有効性を「目の前で実証する」という事を提唱しているものや、その手法をそのまま「直に教える」という事を提唱しているものは、私が知っている限りでは１つとして、存在しません。

中にはウン十万円という高額な金額で販売されているような「塾」を謳っているものでさえ、目の前でその手法を実践し、リアルタイムに資産を増やしているところを見せながら、その手法を手ほどきするような事はしていないんです。

本当にそれが再現性の高い有効なノウハウであるなら、そのような「教え方」が最も確実であるにも関わらず、それを行っていない理由は結局のところ「ノウハウに自信が無い事」に尽きると思います。

そのノウハウ自体が情報として売るために作り上げた机上のノウハウであるか、それなりの有効性はあるものの、いざ目の前で実証できるほどの確実な再現性は無いか・・・。

投資関連の情報商材の大半は、このどちらかである可能性が高く、そうであるからこそ、その有効性を目の前で実証する事や、その手法を直に手ほどきするような事が「出来ない」わけです。

そのような実状を捉えて頂くだけでも、私がいかに自分自身の手法に自信を持っているか、そして「本当に有効な資産運用のノウハウがいかに希少なものであるか」も、少なからず、お分かり頂けるのではないかと思います。

その「有効性」「再現性」に自信があるからこその提供体制

また「本当に有効な投資手法」や「トレードノウハウ」などは、本来であれば『情報商材』のような形で不特定多数の人に公開される事のないものだと思います。

何故なら、本当にそのような手法を確立しているような人は、専業の投資家やトレーダーである可能性が高く、そのような人達は「情報（情報商材）」のような形で、そのノウハウを売るという「発想」もなければ、そのような事を行う必要もなく、何より、そのノウハウを不特定多数の人に広める事自体に「何のメリットも無いから」です。

実際に資産運用を専業として、それでしっかりと稼げるノウハウを確立しているなら、それを「情報」として売って稼ぐ必要などありませんし、そのためにコンテンツや販促用のページを作る事自体が、そのような人にとっては、ただ面倒な作業でしかありません。

更に、その手法が多くの人に知れ渡ってしまう事は「買い」の局面においても「売り」の局面においても、ただ競合を生んでしまうという点でデメリットしかないのが実状です。

つまり、本当に有効な投資ノウハウを確立しているような、専業の投資家やトレーダーが、自らのその手法を「情報」として不特定多数の人に公開（販売）する事など、普通に考えれば「ありえない事」なんです。

ただ、コピーライター、マーケッターとしての活動こそが本業である私にとって、こうして確立したトレードノウハウは「宝の持ち腐れ」でしかありません。

また、このような稼ぎ方そのものが、私には「合わない」と感じた事。

そして、この手法が「あらゆる市場（相場）に適応できる」という点で、実践者同士の競合により、その有効性が弱まってしまう状況を幾らでも回避する事ができるというところも、このノウハウをこのような形で公開できる理由にあたります。

だからこそ、現に私はこの手法を以前からのビジネスパートナーなどに継承し、更に、このようなオファーを介して、より多くの相場師を育成していこうとしているんです。

知識、経験を問わない、極めて高い「再現性」

事実、私のトレード手法では、これまで、投資やトレードで全く稼ぐ事が出来なかった友人や知人、また、この分野の知識、経験はほぼ皆無だった受講者様などが、実際にノウハウを教えた「その日」から、実際のトレードで稼ぎ始める事が出来ています。

▼ 資金２０万円から１１,５１６円の収益　資金に対しての利益率：５.８％

▼ 資金４０万円から２０,７９５円の収益　資金に対しての利益率：５.２％

▼ 資金５０万円から２８,５７５円の収益　資金に対しての利益率：５.７％

上記の実績画像はいずれも、私が直にこのトレード手法を教えた方々のパフォーマンスをキャプチャしたものですが、このような形で、このノウハウは、それを教えた「その日」からでも実際に資金を運用し、その資金に対して４～６％ほどの利益を上げていく事が出来ています。

初日は、どんなに資金があっても、まずは数十万円くらいの資金からの運用を推奨していますので、その資金となっている金額はそこまで大きな額にはなっていませんが、それでも一般サラリーマンの日給に相当する金額やそれ以上の金額を稼ぎ出せているのがお分かり頂けるはずです。

そして、このような運用実績を即日から実現している方々の全員が「投資」や「トレード」の知識や経験などを有していたわけでもありませんでした。

その分野においては、完全に「素人」の状態からでも、私の手法は問題なく身に付けられるという事です。

故に、投資、トレードの知識、経験は一切、問いません

私は「お金でお金を稼ぐ」という事が肌に合わない自分に気が付き、最終的な結論として「コピーライティングやマーケティングのスキルを駆使してネットビジネスで稼いでいく事の方が、自分には合っている」と思いました。

ですが、その「ネットビジネスで稼ぐためのノウハウ」を身近な友人や知人なども含め、多くの人に教えてきた経験として、私は「ネットビジネス」で結果を出せなかった人、自分には合わないと諦めてしまう人も、数多く目にしてきています。

そんな中、ただ単純に「お金を稼ぐ」という結果だけを重視するなら、この資産運用のノウハウの再現率は今のところ１００％（ノウハウを教えた人の全員が稼げるようになっている）という状況です。

もちろん、彼等も最終的にこのような手法でお金を稼いでいく事に対して何を思うかは分かりません。

その中には私のように「稼げる云々とは別に自分にこのようなお金の稼ぎ方は合わない。」と思うような人もいるかもしれませんし、そう思いながらも私のような「別の稼ぎ口」が無ければ、続けていく人もいると思います。

ですが、ただ純粋に「お金を稼ぐ」という結果だけを言えば、私が長年、研究を重ね、研ぎ澄ませてきたコピーライティングやマーケティングのノウハウなどより、その「再現性の高さ」は、この資産運用のノウハウの方が、遥かに「上」という結果が出ているのが実情です。

私が感じるような「精神面」における向き不向きはあると思いますが『物理的な再現性』は極めて高いノウハウであり、この手法を身に付けておけば、一生涯、収入源やお金に困る事はなくなるかもしれません。

これは、それくらいのノウハウを、私が「目の前」で実証し、そして「直に」その「全て」を徹底して教える、そんなオファーであるという事です。

「対面講習」と「通信補習」を併せた受講料について

今回のオファーは、ここまで伝えしてきた『私の資産運用（トレード）のノウハウの全てを１から教える』というものであり、それを前提とした「対面講習」と「通信補習」を兼ねたコンサルティングを提案するものです。

その「ノウハウ」によって手にする事ができる「リターンの大きさ」とその「再現性の高さ」は既に実証済みであり、その今後の将来的な有効性についても、以下のような要因から、その有効性が薄れてしまう可能性も極めて低いものであると言えます。

・**特定の市場（相場）だけに依存する手法ではない事**（株、為替、仮想通貨といった「あらゆる市場（相場）」に適応できる手法である事）

・**極めて不変性の高い「統計」と、それを捉える「心理」に重きを置いた手法である事**（決して大きく変わる事のない人間心理の共通性を突いた手法である事）

・**過去数年分のバックテストにおいても、その有効性がしっかりと実証できている事**（そして、現在においても変わらず有効であり続けている事）

故に、このノウハウそのものの「単純な金銭的価値」は、もはや計算のしようがなく、これが「資産運用のノウハウ」である以上、その資金と投じていく時間（期間）によって、そのリターンは天井知らずに増やし続ける事が出来ます。

そんな「青天井のリターン」を手にできるノウハウが、現状においては「１００％の再現率」を実現しているのです。

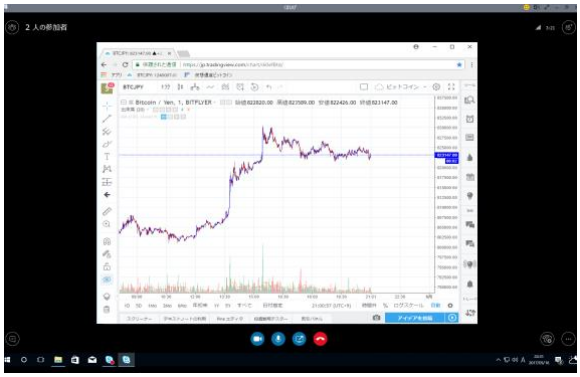
そして、これを私が「直に教え込んでいく体制」を徹底していってこそ、その再現率を維持できるものでもありますので、現状のような「マンツーマン体制」は、例えどんなに私自身の時間と労力を割いてしまとしても、決して崩す事はできません。

よって『一人の受講者様に対して必要となる所要時間』などから、その受講料は以下のような価格設定とさせて頂きました。

「対面講習」＋「通信補習」プラン受講料：１０８万円（税込）
「通信講習」＋「通信補習」プラン受講料：９８万円（税込）

「対面講習プラン」と「通信講習プラン」の違いについて

上記の「対面講習プラン」と「通信講習プラン」の違いは、初回の実践講習を「対面形式」で行うか「通信形式」で行うかの違いであり、通信講習プランでは、対面講習で行う実践的なトレード講習を「スカイプ」を使い、パソコン画面を共有する形で行います。



通信講習プランの場合は、運用（売買）のタイミング、方法などの実践的な講習を、私のパソコン画面を互いに共有する形で進めていくという事です。

私自身、何名かの遠方に住むビジネスパートナーとは、この形で手法を教えた経緯もありますので、実際にノウハウを教える事自体は、スカイプを利用した通信形式でも問題はありません。

ですので、

・東京都内への移動、宿泊などが物理的に難しい（厳しい）
・家を空けて都内に足を運べないご事情がある
・交通費等も馬鹿にならないので出来れば自宅で講習を受けたい
・通信形式でも問題なく学べるなら、そのようにして欲しい

といった場合は「通信講習プラン」を選択ください。

尚、通信講習の場合は講習を何度かに分ける事も出来ますので、ある程度、柔軟に講習日を設定して実践講習を行っていく事も出来ます。（対面講習プランの場合も、対面講習後、追って補習的に同様の講義をスカイプで行っていく事も出来ますので、対面講習プランの場合でも通信形式の講習は問題なく受けられるとお考え頂いて結構です）

資金に対して一日あたり４～６％の利率を実現できる、どのような市場（相場）にも適応が可能な資産運用のノウハウ。

もしもこれが「本物（本当）」であるなら（少なくとも、ここでお伝えしている事には、何１つとして嘘はありませんが）、約１００万円という金額そのものが一般論として高い、安いという話を抜きにして、このオファーを介して提供するものの「価値」は、決して金額に見合わないものではないと思います。

もちろん、約１００万円近い金額は、普段の買い物などで日常的に使うような金額ではありませんし、そのような金額の買い物をするというだけで、その対象が何であっても、十分に「検討」に値する価格帯なはずです。（１００万円もの買い物を一切の検討の余地もなく踏み切れるような人は、そうはいないと思いますので。）

ですので、あなたが今現在、この価格を率直にどう思っているにせよ、そこは十分に、そして、慎重に検討いただいて結構です。

『そのトレード手法が自分に「合っているか」どうか』
『このようなスタイルの短期トレードを自分が「実践していきたい」のかどうか』

是非、そこを冷静に考えてみてください。

私としても、決して衝動的に申し込みを入れてほしいようなオファーではありませんし、検討に検討を重ね、本気でこのようなお金の稼ぎ方を学びたい人、このような世界に身を投じたい人にお申込み頂きたいというのが率直な本音です。

実際に長時間、長期間に渡って同じ空間で時を過ごし、また、お付き合いする事になるのですから、お申し込みにおきましても、そのくらいの決意を固めて申し込んで欲しいという事です。

できるなら、まだ「申し込まない」でください。

ですので、このオファーにおいては、仮に今現在の時点で「お申し込みの意欲」がかなり高まっている状況にあるとしても、決してそのままの勢いで申し込んでしまうのではなく、一度、冷静に『本当にこのノウハウをモノにしたいのか（モノにする必要があるのか)』を考えて欲しいと思います。

今回のオファーに関しては、そのような形で「衝動的にでも申し込みを入れて欲しい」という意図は、少なくとも、私の方には全くありませんので、むしろ、そこは一度、頭を冷やして検討に検討を重ねて欲しいんです。

その上で、今回のオファーを「受けたい」「受けてもいい」と思われた場合は、一度、最終的なお申し込み前の段階で私と「最終確認」を兼ねた話し合い（スカイプ通話、またはお電話）の時間を作って頂ければと思います。

もしくは**「最終的な判断を下すために私と話をしてみる」**という形でも構いません。

それこそ、この手紙では、その運用の「手法」そのものについては、そこまで詳しい事をお伝えしませんので、その「手法」についての細かな質問等も大歓迎です。

そのようなところも含めて、１００％納得いただいた上でお申し込みいただき、その実践講習に望んでいただきたいからです。

ですので、その手法についての質問等に対して、

「それはお金を頂かないと教えられません。」
「それは今の時点では秘密です。」

といったように回答を渋るような事は一切いたしませんし、口頭で説明できる範囲の内容、詳細は、頂いたご質問に対して、可能な限りお答えするつもりです。

私としても、いざ教えられた手法が「思ったもの、想像していたものと違った。」という状況は避けたいと思っていますので、あなたの疑問や懸念等は、事前に全て、解消させてください。

その上で、一点の曇りもなく、納得できた時点で、最終的な決断を下し、この企画への参加を決めていただきたいという事です。

お申し込みの前にまずは一度、直にご挨拶をさせてください。
最終確認を兼ねたご質問、ご相談も大歓迎です。

もちろん、現時点で何の質問事項などもなく、冷静に検討に検討を重ねた上で『このノウハウをモノにしたい（モノにする必要がある)』という結論に至っているのであれば、そのままお申し込みのお手続きに進んで頂いても構いません。

ただ、その場合でもできれば一度、お申し込みの前にご挨拶だけでも、互いの言葉を直に交わせる機会を作って頂ければと思います。

>> お申込み前の事前通話の申請はこちらから
→ http://ebook-japan.com/secret/form/

事前通話は「スカイプ」または「お電話」にて承りますので、上記の申請リンクより希望日時を申請いただければ、折り返し対応日時の方をご連絡させて頂きます。
※事前通話は、参加を検討されている段階の質問、相談等でも問題ありません。

－ Ｑ＆Ａ －

この企画や運用における手法に対してのご質問等は、直にお話しをさせて頂く際にも承りますが、ここまでの「おさらい」も兼ねて、以下に「Ｑ＆Ａ」の方もご用意させて頂きました。

事前通話の前に、一通り、目を通して頂ければ幸いです。

Ｑ：どれくらい稼げますか。

どれくらい稼げるかは「資金」によりますし一日の間でどれくらいの時間を要して「相場に向き合えるか」でも変わってきます。

その前提の上で、資金に対しての利率としては、一日あたり４～６％ほどですが、仮にまる一日中、相場に向き合い「運用」を行えるチャンスの全てをくまなく押さえていけば、それ以上の利率を実現する事も可能です。

ただ、不眠不休で一日中相場に向き合うというのは、現実的に不可能に近いと思いますので、常識的な範囲で一日、可能な範囲で相場に向き合い、実現できる一日あたりの利率が資金に対して４～６％ほどとお考えください。

１０万円ほどを資金とすれば１日あたり４０００～６０００円、１００万円を資金とすれば１日あたり４万～６万円ほどを稼ぎ出す事が可能な手法であり、そのような利率を「複利」で回転させていく事もできます。

一般会社員の一日あたりの収入程度であれば２０万円ほどの資金があれば十分に稼ぎ出せる可能性があるという事ですので、仮にこれを「専業」にしたいという場合、その際の資金は２０万～３０万円もあれば十分という事です。

ただ、仮にこれを本業の合間などの「空き時間」のみを利用して行っていく場合などは、必然的に相場に向き合える時間も限られてくると思いますので、その時間に応じて稼ぎ出せる利率も変わってくると思います。

Q：投資、デイトレなどの知識、経験が全くないのですが、それでも出来ますか。

投資、デイトレの知識、経験は全く必要ありません。

ただ、この手法が「何故、有効であるか」「何故、勝てるのか」の理屈、論理は、ある程度の経験や知識があるほど、自らの知識、経験と照らし合わせて、その有効性をすぐにご理解いただけると思います。

もちろん、そのような知識、経験がない方にも十分に理解、納得していただけるように「有効な理由」や「その根拠」は講習の際にしっかりとご説明します。

Q：勝率はどれくらいですか。

基本的に資産運用というものは「トータル」及び「長期」の視点で資金が増えていくかどうかが重要ですので、それを実現できるのであれば「勝率」にあたるものは、極端な話１％（９９回に１回しか勝てない）でも問題ないものだと思います。（１００回中１回の勝ちでトータルプラスになるなら、それで良いという事です）

逆に勝率が９９％でも、トータル、及び長期間で見て資金がマイナスになってしまうなら、その手法は「有効」とは言えません。

ですので、この「勝率」というものは、あまり意味のある数字とは言えませんが、その前提の上で「勝率」という数字のみを回答として示すなら９割強の勝率はあると思います。

尚、ここで言う「負け」はすなわち「損切」を意味しますが、実際の運用時に損切が必要となるような局面は、１０回に１回にも満たない程度の確率（勝率）であるという事です。

Q：資金はどれくらい必要ですか。

レバレッジをかけられる仮想通貨などの市場を対象とする場合は１０万円ほどの資金からでも実践が可能です。

Q：一回あたりの運用（トレード）に要する時間はどれくらいですか。

数秒、数十秒で決済する場合もありますが、状況に応じて数分、数十分の運用時間となる場合もあります。

基本的に私の手法はファンダメンタルの要素を排除し、心理と統計（テクニカル）の観点によってのみ、勝率の高くなるポイントのみを狙う手法であるため、その観点のみで値動きを高い確率で捉える上では、数分、数秒といった短期の運用が最もその有効性を高められるからです。

言い換えれば数秒、数分の値動きにファンダメンタルの要素が介入する余地は無いに等しく、そのような短期の値動きは、心理と統計（テクニカル）によって動いていると言っていいと思います。

その上で、私の手法では、それを高い確率で捉えられるポイントのみを狙って、数秒、数十秒単位の値動きを捉え、その間の利幅を抜き取っていくというものです。

ただ、状況に応じてそれが数分間に及ぶ場合もあるというイメージになります。（よって数時間単位の運用になるような事は原則として、まずありません）

Q：運用のルール、手法は簡単ですか。

簡単と思うかどうかは人それぞれの感覚によって異なってしまうと思いますが、決してそこまで「複雑なものではない」と思います。

私自身、相当数の受講者様にこの手法を教えてきていますが、投資、トレードの経験や学歴、数字に弱い人、強い人と、千差万別な方々が、ほぼ例外なく、ものの数日でこの手法を実践できるようになっている状況です。（大半の人は、ほぼ１日である程度は実践できるレベルになっています）

そのような状況も踏まえて、手法そのものは極めてロジカル且つ明快なものになっていますので「一度、ルールを覚えてしまえばさほど難しいものではない」というのが私の感覚です。

Q：感覚的な要素や裁量的な要素が必要となるようなノウハウですか。

そのような「裁量」にあたるものを「応用的に用いる余地」はあります。

ですが、そのようなものを排除して、完全に「ルール通りに機械的に行えるノウハウ」でもありますので、裁量が「必要か」と問われれば、答えは「ノー」であり、必要ありません。

あくまでも「ルール」のみに沿って、ロジカルに運用を行える手法です。

Q：何か特別なソフト、ツールなどを利用する手法ですか。

チャート（値動き）の確認に「トレーディングビュー（tradingview）」というウェブ上で利用できるサービスを利用しますが、それ以外に特殊なソフトやツールなど利用する事はとくにありません。

よって、実際の資産運用にはインターネットに繋がっている状態のパソコン、タブレットなどがあれば、それだけの環境で十分に実践が可能です。

Q：複数のモニター（画面）に幾つものチャートを同時に見る必要はありますか。

強いて多くのチャートを同時に見るような手法ではありませんので、モニターは一台でも問題ありません。

私自身、旅行先などではノートパソコン一台でこの手法を実践していました。

ただ「チャート」と「注文画面」を分けて表示できた方が「やりやすい」という側面もありますので、それでもモニターが２つあれば十分です。（私が自宅での取り組む際は２つのモニターで行っています）

またはＰＣとタブレット、ＰＣとスマートフォンなどを組み合わせて取り組んでいく形でも問題ありません。

Q：テクニカル指標などを複数用いてチャートを分析するような手法ですか。

多くのトレーダーが「テクニカル指標」と呼ばれるものを数多くチャートに表示させながらも「勝てていない（稼げていない）」という現実がある以上、私は当初から、そのような指標は、ほぼ無視する形で値動きを捉える手法を確立してきました。

故に稼ぐ事ができていない多くのトレーダーと私の『違い』を挙げるなら「売買の基準においてアテにしている基準」や「数字」が根本的に異なるという点が挙げられると思います。

それでも１つだけチャートに表示させる指標はありますが、それはあくまでも状況判断における１つの材料として用いる程度で、実際の運用ルールにおいては、そこまで重要な役割を担うものにはなっていません。

よって、私の手法は「テクニカル指標」と呼ばれるものには依存せず、あくまでも「値動き（チャート）の動向」から、相場に向き合う投資家、トレーダー達の「心理」の動向を捉える視点と、そこから生まれる「統計」の視点から独自のチャート分析術を用いてトレードをを行っていく流れになります。

Q：資産の運用を行える時間などに制限、条件などはありますか。

この手法は株、為替（ＦＸ）、仮想通貨と、あらゆる相場において有効であるため、どこかのマーケットが開けていれば、そのマーケットを対象に実践していく事が出来ます。

その上で、現状、最も相性の良い「仮想通貨」のマーケットは土日、祝日を問わず２４時間、その売買（運用）を行えるため、仮想通貨の市場においては、昼夜問わず、いつでも実践が可能です。

ただ、相場そのもののが「勝てる可能性が高い局面」のみを狙っていく手法であるため、その「運用の条件」が満たされている時でなければマーケットには入れません。

その条件が満たされるサイクルとしては、１日の間に数時間おきには、その条件が満たされる局面が訪れるという間隔ですが、あらゆる相場において有効な手法である以上、常にどれかしらの相場（市場）が、その条件を満たしている状況にあります。

よって、マーケット（市場）を問わずに実践していくのであれば、常に「条件を満たしている相場」を対象に取り組んでいく事も出来るということです。

Q：ひたすら相場に貼りつくような必要はありませんか。

可能な限り資金を運用して１円でも多くの利益を上げていこうと思うのであれば、常に相場と向き合って全てのチャンスを押さえていくに越した事はありません。

ですが、実際に運用を行える相場は、定期的に幾度と訪れますので、空き時間に相場を見て、その局面を迎えている時、もしくはその局面になりつつある時に、そのタイミングで運用を行っていくスタイルでも十分に実践していく事が出来ます。

よって、常に相場に貼りついて、その値動きを監視し続けるような必要はとくにありません。

また、実際の「運用時」も一回一回の運用は数秒から数十秒、長くても数分で終わりますので、運用時もその間は相場に向き合い続ける必要がありますが、強いて相場から離れてはいけない状況となるのは、その数秒から数十秒、長くても数分の「運用真っ最中」の間のみとなります。

Q：副業でもできますか。

時間も自由であり、強いて長時間、相場に拘束される事もない手法ですので「空き時間のみに実践する」という前提で「副業」という形で取り組んでいく事も十分に可能です。

Q：対面講習はどこで、どれくらいの時間、行うのですか。

都内のホテルの一室、または会議室などを使って、マンツーマン形式で行わせて頂きます。

ホテルの一室を用いる場合はチェックインの関係上、１５時頃をスタートとした上で、２１時までの６時間ほどを目安としていますが、相場の状況、受講者様のご要望によっては延長も可能であり、ホテルの会議室などを借りての講習であれば、午前中から夕方にかけての時間帯などでも対応が可能です。

よって、開始時間、終了時間なども、ある程度は柔軟に調整が可能ですので、ご希望の時間帯（夜間、早朝など）がありましたら、お気軽にお申しつけください。

尚、講習希望日のご指定は、平日はもちろん、土日、祝日でも問題ありません。

Q：マニュアル、テキストのようなものは頂けますか。

実際の講習時には、私のノウハウの「ルール」「ポイント」などをまとめたレジェメ（資料）の方を提供させて頂きます。

レジェメの方はＰＤＦでの提供となりますが、１つ１つのルール、ポイントにおいては実際のチャートを用いた事例なども図解にして盛り込んでいますので、その主要となるルール、ポイントなどは、講習後においても、そのレジェメの方でいつでも確認いただけます。

Q：対面講習の際に必要となるものは何ですか。

使い慣れたノートパソコンなどがある場合、そちらをご持参いただければと思います。

ノートパソコンそのものを持っていないという場合は、こちらで講習の際にこちらのノートパソコンを貸し出す事も可能ですので、その場合は事前にお知らせください。

また、講習の際は実際の運用も行って頂く事を前提としていますので、事前に「取引を行える口座」をご用意いただく必要があります。（その取引口座につきましては、お申込み後にご案内いたします。）

Q：資産運用に用いる証券会社、取引会社に指定はありますか。

強いて「この会社を使わなければ実践できません。」というものはありませんが、私自身が使い慣れている取引会社を同じように利用していただいた方が、いろいろな面でスームズかと思いますので、そちらをご案内させて頂きます。

ただ、既に使い慣れた取引口座があるという場合は、そちらで運用して頂いても構いません。

Q：妻（または夫）と一緒に講習、講義を受ける事は可能ですか。

法律上の「配偶者」にあたる方であれば、受講時の同伴を「可」としますので、講義の際に同席いただいて問題ありません。（もちろん、受講料は１名様分のみで結構です）

ただ、基本的に「受講対象者」となるのは、お申込みを頂いた方のみとなりますので、その後の「通信講義」などにつきましては、その受講対象者の方のみが、受講の対象となります。

Q：子供連れで対面講習を受ける事は可能ですか。

受講者側が問題なく講習を受けられるのであれば構いません。

私の方は、私も小さい子供がいますので、そのような状況でも講習そのものは問題なく進められると思います。

Q：対面時の実践講習で「損失」が出る可能性はないのですか。

私のノウハウは、決して「必勝法（いつ、いかなる時も必ず勝てるノウハウ）」ではありませんし「相場」が相手となる以上、短期的、一時的には「損失」が生じる可能性もゼロではありません。

それでも１日のトータル収支がマイナスになるような「可能性」は、過去のバックテストのデータ上、及び、私や既に実践を始めているパートナー達の経験上、極めて低い確率となっていますので、その確率の範囲で生じる損失はたかが知れている事から、対面時の実践講習の際に生じた損失は、全て、私の方で補填（保証）させて頂きます。

ただ、こちらの「保証」は「リスクが無い前提の無茶な運用」をご遠慮いただくため、保証の対象となる運用金額の上限を１００万円までとさせてください。

よって、仮に実践講習の際の「資金」として１００万円をご用意いただいた場合、その全額を失うような状況になってしまっても（私の手法のルール上、それはまずありえない事ですが）、その資金は全て、私の方で保証しますので「その当日、１００万円以内の資金であれば、受講者様はノーリスクで運用ができる」という事になります。

対して、その実践講習の中で実際に生じた「利益」に関しては、その全額を受講者様の利益としてご自身のものして頂いて構いません。

その実践講習の中で資金を運用していただく際は、その「損失」は全て私が被り「利益」は全て受講者様のものになるという事です。

Q：資金の全てを失うリスク、借金を抱えてしまうようなリスクはありませんか。

相場において、そのような大きな損失を出してしまうのは、そのほとんどが相場に資金を投じた状態で、そのまま相場から目を離してしまうような数時間から数日、それ以上の範囲でトレードを行っているような人達です。

その点で、少なくとも、私のトレード手法は、数秒から数分ほどの短期売買を前提にしているため、相場に資金を投じた状態でそこから目を離すような事はまずありません。

よって、仮に多くのトレーダーが資金を一気に失ってしまうような相場に直面してしまったとしても、そのリアルタイムな値動きに対して、即座に対応する事ができます。

資金を大半を失ってしまうような状況や、それ以上の損失を出してしまうような状況には、まず「ならない」という事です。

加えて、その運用ルールの中にも「損切」のルールが含まれていますので、そのルールに従ってしっかりと「損切」を行えれば、その損失も必要最小限に留められます。

どんなに「最悪な状況」に至ったとしても、その損切ルールの適用によって、損失として生じるのは、せいぜい資金の１０～２０％ほどのロス（損失）という範囲です。

ただ、これは本当に最低、最悪の「まずありえない」というレベルのケースで生じる損失額になりますので、その「損切ルール」の適用時のロス（損失）は、ほぼ間違いなくそれよりも低い金額になります。（また、その「頻度」という点でも、損切ルールが適用される事は本当に滅多にありません）

今回のオファーの概要をまとめます。

今回のオファーを端的にまとめますが、私の方から提供させていただきたいのは『あらゆる市場（相場）に適応できる資産運用のノウハウ』であり、手法の分類としては「スキャルピング」と呼ばれるような数秒、数分の売買によって利益を積み重ねていく短期運用を前提とするノウハウとなります。

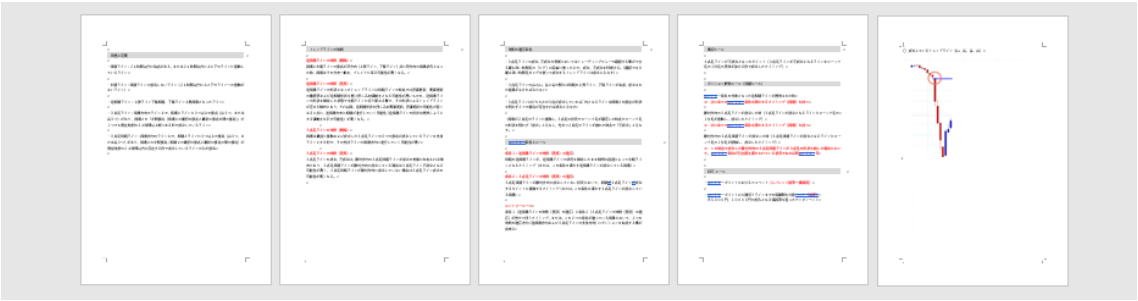
現状は、短時間で最も大きく相場が変動する「仮想通貨の証拠金取引（FX）市場」が、短期売買の特性上、高い利益率を出せる傾向にあり、そこで実際に実現している利率が資金に対して１日あたり４～６％ほど（１０万円に対して４０００～６０００円ほど、１００万円に対して４～６万円ほど）という数字です。

そんな「資産運用のノウハウ」を、今回は、以下のような実践講習と通信講習を介して提供させていただきます。

・ほぼ「１日がかり」で行う手取り足取りレベルの対面講習
・スカイプ・メールによる「９０日間、回数無制限」の通信補習

よって、本講座のメインはあくまでも対面、または通信形式の「実践講習」と、その後に対応させていただく「補習講習」であり、それらによって、私が直に提供する「資産運用のノウハウ」そのものに他なりません。

ただ、実際の講習時には**『私のノウハウの「ルール」「ポイント」などをまとめたレジェメ（資料）』**の方を提供させて頂きますので、その主要となるルール、ポイントなどは、講習後においても、そのレジェメの方でいつでも確認いただけます。



レジェメの方は、上記のようなＰＤＦでの提供となりますが、ご覧の通り１つ１つのルール、ポイントにおいては実際のチャートを用いた事例なども図解にして盛り込んでいますので、この資料のみでも「教材」として売り出せるレベルの内容だと思います。（もともとは私自身のために作成していた資料なのですが、今は講習時の資料として使っています。）

また「対面講習」の際に行う実践的な運用講習については「スカイプによる画面共有」を行っての「通信形式」でも対応できますので、

・東京都内への移動、宿泊などが物理的に難しい（厳しい）
・家を空けて都内に足を運べないご事情がある
・交通費等も馬鹿にならないので出来れば自宅で講習を受けたい
・通信形式でも問題なく学べるなら、そのようにして欲しい

このような場合は以下の「通信講習プラン」の方を選択してください。

「対面講習」＋「通信補習」プラン受講料：１０８万円（税込）
「通信講習」＋「通信補習」プラン受講料：９８万円（税込）

ただ、既にお伝えしました通り、このオファーにおいては、仮に今現在の時点で「お申し込みの意欲」がかなり高まっている状況にあるとしても、決してそのままの勢いで申し込んでしまうのではなく、一度、冷静に『本当にこのノウハウをモノにしたいのか（モノにする必要があるのか)』を考えて欲しいと思います。

『このようなお金の稼ぎ方が自分に「合っているか」どうか』
『こういったお金の稼ぎ方を自分が「したい」のかどうか』

是非、そこを冷静に考えて頂いた上で、お申し込みの方を慎重に検討して頂きたいのです。

この講座の特性上、受講者の方とは、実際に長時間、長期間に渡って同じ空間で時を過ごし、また、お付き合いする事になるのですから、お申し込みにおきましても、そのくらいの決意を固めて申し込んで欲しいという事です。

その上で、今回のオファーを「受けたい」「受けてもいい」という場合は、一度、最終的なお申し込み前の段階で私と「最終確認」を兼ねた話し合い（スカイプ通話、またはお電話）の時間を作ってください。

「最終的な判断を下すために私と対話してみる」という前提でも構いません。

私の「手法」についての細かな質問等も大歓迎ですので、そのようなところも含めて、１００％納得いただいた上でお申し込みいただき、その実践講習に望んでいただければと思います。

>> お申込み前の事前通話の申請はこちらから
→ http://ebook-japan.com/secret/form/

事前通話は「スカイプ」または「お電話」にて承りますので、上記の申請リンクより希望日時を申請いただければ、折り返し対応日時の方をご連絡させて頂きます。
※事前通話は、参加を検討されている段階の質問、相談等でも問題ありません。

まずはお申し込みの前に一度、ご挨拶だけでも、互いの言葉を直に交わせる機会を作って頂ければと思います。

現時点で何の質問事項などもなく、冷静に検討に検討を重ねた上で『このノウハウをモノにしたい（モノにする必要がある）』という結論に至っているのであれば、そのままお申し込みのお手続きに進んで頂いても構いません。

その場合は、こちらよりお申し込みのお手続きを進めて頂ければと思います。

>> 対面講習プラン受講のお申し込みはこちらから（受講料１０８万円）
→ https://admall.jp/buy.html?shn=10000833

>> 通信講習プラン受講のお申し込みはこちらから（受講料９８万円）
→ https://admall.jp/buy.html?shn=10000856

※お支払い方法はクレジット決済による分割決済（６回まで）と銀行振込によるお申し込みが可能となっています。

一日でも早く、相場を「自由にお金を引き出せる場所」へ。

トレードの世界は、正しいやり方を正しく実践できれば、その手法によっては、その日からでも「結果」を出す事が出来る『即効性』があります。

そして、その「正しい手法を同じように実践する」という『再現性』の面でも、結局のところ「売り」と「買い」の判断が全てであるトレードの世界は、そのスキル（ノウハウ）の習得も、そこまで時間を要するものではありません。（少なくとも、私の運用ノウハウの習得は、そこまで難しいものではないと思います。）

実際にその『即効性』と『再現性』の高さは、私の知人、友人という身近な範囲でも顕著に表れていますので、これを機に、あなたが

「とにかく経済的な自由、時間的な自由を手に入れたい」

というのであれば、是非、私のトレード手法の習得を視野の中に入れてみてください。

結局のところ、あなたが求めているもの、あなたの目的が「ネットビジネスで成功する事」なのではなく『経済的にも時間的にも自由になる事』なのであれば、その願望を叶える“だけ”なら、まさしくこれ以上のオファーは無いと思うからです。

そのようなところも含めまして、もしもこのようなお金の稼ぎ方に興味があるようなら、その「興味」を「確信」に変えられるかどうかを試してみるような前提でも構いません。

最終的な決断は、私と直に話をしてみた後で結構ですので、一度、私とこの件について、じっくりと話し合う時間を頂ければ幸いです。

>> お申込み前の事前通話の申請はこちらから
→ http://ebook-japan.com/secret/form/

その一日を境に全てのストレス、不安から解放されていく感覚。
それを是非、あなた自身が「リアル」に味わってください。

このオファーにおける「実践講習」では、おそらく「その日（実践講習日)」を境に、あなたが抱える、ありとあらゆる「不安」や「ストレス」などから一気に解放されるような感覚を「リアル」に味わえると思います。

私自身があなたの目の前で、実際に資金を運用して収益を上げ、その有効性を『実証』すると共に、あなた自身がその方法で稼ぐ（稼げる）という事を、その日のうちに、その場で実際に『体験』できるからです。

そのように「自ら実際に稼ぐ」という事をリアルに体験できるからこそ、あなたはこの手法の有効性を「確信」できると共に、この方法で今後、稼ぎ続ける事ができるであろう収入なども「鮮明」にイメージできる事になります。

その「イメージ」によって、この上ない「モチベーション」が自分の中から湧き上がってくる感覚、そして、今後の将来、未来が一気に明るく開けていく感覚を是非、リアルに味わってみてください。

それは「お金が関わるありとあらゆる不安」や「ストレス」の全てから解放され、それらとは無縁な人生を今後、一生涯、歩んでいける確信とイメージに繋がっていくはずです。

そして、その上での「現実的な可能性」という点でも、このオファーでは「私以上の経済力」を悠々と手にしていくような相場師が、今後、何人も生まれていく事になると思います。

最初は１０万円、１００万円といった資産の運用から、日給換算で数千円、数万円というスタートになると思いますが、その資金はそう時間を要さずとも１０００万円、１億円という金額になっていくはずだからです。

そうなれば、その時点で既に日給は単純計算で数十万円、数百万円というステージになっていく可能性は十分にありえますので、１年も立たずに私以上の収入を稼ぐ人、私以上の資産をこの手法で築き上げる人が出てきても、全くおかしくはないわけです。

それこそ、私が過去に「ネットビジネスの世界」で、年収億単位のステージに導けた人の数は、片手には収まりませんが「両手には収まってしまう範囲」なのが実情です。（とは言っても、このレベルの成果は、本人の努力による部分が最も大きいので、私などは、そのきっかけを与えたに過ぎませんが。）

ただ、このノウハウでは、それを更に超える多くの方々が、そのようなステージや、それ以上のステージに立っていく事になるはずです。

その中で、私は「自ら、自分の資産を運用して増やしていく事」は断念しましたが、この「相場」の世界の研究と検証は、今も継続して行っていますし、今後も継続して行っていくつもりです。

そのようにして、私は今後も「自らの手法」を更に研ぎ澄ませていこうと思っていますので、今回のオファーを介してご縁を持つ事が出来た方とは、今後においても、この分野の有益な情報や、今後における研究、検証の更なる成果などをシェアさせていただきたいと思っています。

そして、相応の信頼関係を構築できたなら、私の資産の運用なども是非、お願いしていきたいと思っていますので、あなたはこれをきっかけに世界有数、トップクラスのトレーダー、相場師になってください。

私としては、本気でそのようなステージを目指したいような人にこの手法を提供していくと共に、このノウハウをシェアした方とは、今後においても長く、良い関係を築いていきたいというのが、率直な本心です。

故に、それなりの「覚悟」を決めて頂く必要性からも、その受講料は決して安い価格帯にはなっていませんが、そうであるからこそ、お申し込みは慎重に、そして、真剣に検討を重ねて頂いて結構です。

その最終的な判断のために、私と直に話をしてみるという形でも構いません。

このような「今後の件」も含めまして、あなたと直にお話しをできる事を楽しみにしています。

>> お申込み前の事前通話の申請はこちらから
→ http://ebook-japan.com/secret/form/

－最後に

私はそこまで「人付き合い」や「人との関わり」が苦手、不得手というわけではないものの、どちらかというと「一人が気楽」というタイプで、このような「自分の力だけで自由にお金を稼ぐ事ができるスキル」は、私のようなタイプの人間が人並み以上の「成功」を手にしていくために、必要不可欠なスキルだと思っています。

ですので、もしもあなたが私のように「自分以外の第３者（会社なども含めて）に依存せず、自由に稼ぎたいだけのお金を稼ぎ出せるスキル」を求めてられているのなら、今回、提案させていただいたノウハウの習得を『あなたの望みを叶えるための手段』として、是非、ご検討ください。

ただ、私は最終的に、長年、本業の方で培ってきたコピーライティングやマーケティングのスキルを使って（ある意味）地道にお金を稼いでいく道を選ぶ事にしましたが、私とは真逆の判断に至る人、また、ここで提唱した「お金でお金を稼ぐ」という事に思わぬ『天賦の才』を見出すような人も、おられるはずです。

そして、あなたが「そうである可能性」「そうなる可能性」も、決して否定はできません。

つまり、この手法を習得したほんの数年後の未来、あなたは億単位、強いては何十億円単位の資産を運用し、今のあなたには想像もできないような大成功を収めているかもしれないんです。

少なくとも、この「資産運用の世界」や、私が確立した手法であれば、そのような事も決して「非現実的な話ではない」ということを、是非とも現時点の判断材料の１つに加えて頂ければと思います。

とは言え、同じレベルの「可能性」として、この手法（稼ぎ方）に対して、最終的に私と同じような感覚を抱く事になる人もいないとは限りません。

そのような視点から、私がこの手法を自ら実践していった際に感じた事、そして、自分には合わないという結論に至った経緯について、その全てを語ったレポートがありますので、今回の企画への「お申込み前」には是非一度、目を通して頂ければと思います。

>>青天井で稼げてしまう「究極的な時間労働」に向き合い、私が感じた事。
→ http://ebook-japan.com/secret/yh2.pdf

今、お読みいただいているこの手紙では、私が確立したノウハウの、言わば「アピールポイント」になるようなところを重点的にお話ししてきていますが、上記でご案内したレポートでは、この手法の「落とし穴」と言えるようなところも全てお伝えしています。

まさに、私自身が陥り、この手法を自ら実践してお金を稼いでいく事を断念した理由が、包み隠さず示されているという事です。

あなたが本気で「相場の世界」に身を投じるか否かを決断する上で、これも非常に大きな判断材料の１つになると思いますので、今回の企画への「お申込み前」には一度、目を通しておいてください。

ＰＳ：このオファーは、一人の受講者様に対して、その「対面講習」だけでも、ほぼ１日分の時間を要する形となるため、受講を希望される方のお申し込み状況によっては、物理的に新たな受講希望者様を受け入れられなくなる可能性があります。

よって、とくに「募集期限」のようなものは定めませんが、受講を希望される方の状況次第で、一時的な募集の停止、または募集そのものを終了させて頂く可能性がございますので、その点は何卒ご理解ください。

ただ、仮に募集を停止、終了する場合は当ページを削除するか、お申し込みを行えない形にしますので、こちらの手紙が公開されている状況、また、事前通話の申し込みを行える状況にあれば、ひとまず募集は継続していると判断して頂いて問題ありません。

よって、現時点で、あなたの中に「参加の意欲」や「それを検討の余地」または「確認、質問しておきたい事」などがあるようなら、まずは一度、事前通話の方へお申し込みいただければと思います。

あとは、私と直に言葉を交わした上で判断、決断してください。

その上で「信用できない」「納得できない」ところが少しでも残るようであれば、その時点で、申し込みを見送って頂いて結構です。

それはそれで、あなたの中でしっかりと検討を重ねた上での結論、決断になると思いますので。

要するに、最終的にどのような決断を下すにせよ、あなたが納得できる形でそれを決められるなら、それに越した事はないという事です。

少なくとも、今は直に私と言葉を交わして判断を下せる状況にある事は間違いありませんので、この機をあえて逃す手はありません。

その上で、他でもない「今後」のために、お互いに有意義な話が出来るに越した事はありませんので、まずは、そのための機会を作って頂ければ幸いです。

>> お申込み前の事前通話の申請はこちらから
→ http://ebook-japan.com/secret/form/

PS 2 ：メールによるお問い合わせ、ご質問も大歓迎ですので、もし、メールの方で確認しておきたい事、聞いておきたい事があれば、お気軽にお問合せください。

問い合わせ先メールアドレス：a178203@gmail.com